

全姉連会報 第13号

麦紙・裏麦紙イラスト: 姉月恩様

まさかの新作発表で姉ゲー界を賑わせた『もっと姉、ちゃんとしようよっ!』より一条楓子姉さん(中)、一条鈴音お姉ちゃん(左)、明日原ミサお姉様(右)。本書執筆時は製品版に間に合いませんでしたが、体験版だけでも姉ゲーらしい楽しさが伝わってきました。

裏表紙は、『しすたー・すきーむ2』より梁川あまねお姉ちゃん。優等生タイプなのに、弟に対してはベタ甘で、人前でも平気でチュッとしちゃうキス魔。甘いお姉ちゃんだから名前も「あまね」にしたに違いない。

表紙・裏表紙を描いて下さったのは、第9号でもお世話になった姉月偲様です。

表紙を描かせて頂きました、姉月偲です。 超・姉好きです!!「未だ眠れる貴弟方に、 姉の愛しさを伝えられる」漫画家を目指してます。 あぁ…姉属性な編集者様にお会いしたい…。(笑) とても光栄な機会を頂き、ありがとうございました!!

姉ゲー『もっと姉、ちゃんとしようよっ! 体験版』(Candy Soft)

姉しよが装い一新して帰ってきた! 姉ゲーの原点が再び新しい時代を切り拓く。

姉ゲー『姉@22 ~THE ANE MASTER~』(カウパー)

近親の禁忌に踏み込んだ姉ゲー。道を踏み外した姉弟二人がその先に見たものは!?

姉ゲー『しあたー・あきーむ2』(M de DINK)

謎のセクハラ指令をお姉ちゃん達とクリア。今度はお姉ちゃんが増えました。

姉つミック『青春ポップ!』(北河トウタ)

憧れの美人ボーカルは生き別れの姉だった! 青春まっただ中の姉弟の姿を描きます。

姉コミック 『DCD Diamond Cut Diamond』(①ロケンジ)

WEB コミック界から新進気鋭の姉漫画家登場! 異能力者サスペンスは姉萌え系。

姉つミック『姉様淫香』(東度樹)

著者初単行本が姉オンリー本。甘甘からダーク系まで幅広く取りそろえた1冊。

姉つミック『おま姉』(七類瑞穂)

お姉ちゃんのことが好きすぎる姉作家・七瀬先生の姉新刊。甘姉・S姉揃ってます。

姉つミック『お姉つし』(袖木 N')

著者お得意の年上系・姉系でまとめた単行本。先輩、幼馴染み、お隣姉までコレクション。

姉/ベル『メイドなお姉さんはいかがごすか?』(089 90-/長谷川2キ/)

昨日の姉は今日のメイド? お姉ちゃん達の突然のメイド宣言で姉弟の仲が急接近。

お約束:

全姉連のレビューは「姉萌え」至上主義。絵や文章の巧拙は二の次です。

本文中で引用した画像、文章の著作権は、すべて各メーカー様、著者様にあります。。



もっと姉、ちゃんとしようよっ!

体験版

ブランド	Candy Soft	
ジャンル	新・姉属性ハートフル恋愛アドベン	
	チャー	
発売日	2010年7月30日	

八角橋商店街に居を構える一条家の末っ子・走馬。 単身北海道に渡り、自由気ままな学園生活を送ってい たが、故郷の姉からの電話により状況が一変する。

――父が倒れた。

急いで実家へと戻った走馬を待っていたのは、暗い表情をした五人の姉と、ひどくやつれた父親。

このまま北海道で暮らし、姉たちに庇護されることの ない生活を満喫するつもりだった走馬だが、父の最期を 看取るために故郷に戻ることを決意する。

一条家にとって縁のある学園を進学先に選び、猛勉強。 見事合格を勝ち取り、走馬は三年ぶりに故郷であるハ 角橋に戻ってきた。

これからは父のために姉たちと協力し、家族一丸となって頑張っていこうと、一条家の門をくぐった走馬だったが――

■6年ぶりの「姉しよ」新作!

今さらここで『姉、ちゃんとしようよっ!』の紹介をすることなど釈迦に説法みたいなものですが、姉ゲーの代表作と言っていい「姉しよ」の看板を背負う新作が発表されました。

原作の生みの親であるタカヒロ氏が独立 したのはご承知の通りで、今回の『もっと 姉しよ』は製作スタッフを含む全てが新作。

原作に思い入れのあるファンには、「姉しよ」の名前が入っていることに複雑な思いを抱くこともあるでしょうが、心配する必要は全くありません。

それは、舞台とキャラクターが全部一新

されたからという理由だけではなく、たく さんのお姉ちゃん達に囲まれて素晴らしい 姉ライフを送る『姉しよ』の原点が大事に 受け継がれているのを私・全姉連総裁が体 験版で自ら確認したからであります!

発売日と本書の締切の関係で、評価は体験版止まりですが、十分すぎるボリュームを味わい、涙腺の弱い弟さんならプロローグだけで一雨降らせられる内容でした。

物語は、単身で北海道に渡っていた主人 公・走馬が3年ぶりに父と姉さん達の住む 自宅に帰ってきたところから始まります。

懐かしい我が家なのに、姉さん達の間に 見えない壁を設け、良い弟を演じようとす る走馬。それは、彼が過去に経験したある 出来事が未だに後を引いていたから……。

次第に明かされていくその出来事。ずっと言えずに溜め込んできた走馬の思いが吐き出された時、真っ正面から受け止めてくれたのは、彼のことを世界中の誰よりも愛しているお姉ちゃん達でした。

全てを受け入れ、心が通じたその瞬間、 走馬とお姉ちゃん達は、もう一度「家族」 になったのでした。

体験版はここまで。

お姉ちゃん達は今も何一つ変わらず自分を弟として大事に思ってくれていたことを知ったことで、それまで封印してきた走馬の姉魂(シスコン)が再び発動するのは火を見るよりも明らか。リミッター解除によって、どれだけ姉ゲー指数が上がるか予想が付きません!

■キャラクター

・一条楓子(長女)

母親不在の一条家における母親的立場のお姉さん。

一家の家事をこな し、趣味はお裁縫と 編み物。いつも温厚 で、家族全員のこと を気にかけてくれている。



長女にありがちな天然な性格かと思いきや、実にしっかり者で、弟妹達のことは可愛がるが過剰に甘やかすことはせず、しつけるべきところはきちんとしつけてきた、そんな過去が窺える素晴らしい人格の持ち主。一条家のお姉ちゃん達は皆それぞれ個性的であっても基本的に真面目な人柄で、姉妹間の結束が強いのは、リーダーである楓子姉さんの教育によるものなんでしょう。

しかし、よく出来た姉さんも、甘いもの、特にプリン一つで上機嫌になってしまったり、ウィスキーボンボン一つで家族も裸足で逃げ出す厄介な酔っぱらいになったりする弱い部分も多々あり、そこがまた人間味を覚えることに。

プロローグ部分の最後のクライマックス では、走馬のぶちまけた感情をすべて受け 止め、彼がさらけ出した心の傷痕を直視し て、優しくいたわってくれました。

本当の母親に勝るとも劣らないほどの母性と、長女の風格を有する姉性を兼ね備えた楓子姉さんは、本作を代表する姉であることは間違いありません。

・一条灯華(次女)

主人公と鈴音姉、澪 緒姉が通う学園の教師 をしている姉。

ややおっとり気味な



部分はあるが、学園では理解のある教師と して生徒達に慕われ、重責も担う有能な女 性。

だがしかし、学園での真面目な教師っぷりとは裏腹に、自宅では家族一のぐうたら姉さん。学園では先生と呼ばれているとは思えないほどぽや一っとマイペースな生活をしている。

とは言っても、家族が呆れるほど駄目な 人間ではないので、誰も目くじらを立てる ことはなく、「灯華姉さんはそういう人だか ら」と受け入れられている節があります。

いたずらっぽい性格もあって、よく走馬 にすり寄ってくる灯華姉さんに、弟として は困るような嬉しいような存在。

姉妹の中では、楓子姉さんとともにアダルトチームに属し、彼女の補佐をしながら弟妹達の面倒を見るサブリーダー的な存在。でもスリーサイズ的には本作のリーダー。

・一条境 (きょう)(三女)

感情を表に出すことがほとんどなく、口数も少ない、ミステリアスささえ感じる姉さん。



クールビューティ ーを気取っている訳

ではなく、もともとおとなしい(あるいは何かをきっかけにおとなしくなってしまった?)性格で、人嫌いではないが積極的な人付き合いは好まないように見受けられます。いつも無表情ですが、暗い性格ではないのでしょう。

大学生の境姉さんは教育実習生のような 立場で学園でも登場し、主人公達と関わり を持ちます。

体験版の範囲では彼女の見せ場がほとん どありませんでしたが、何か秘密を抱えて いるような伏線が見られたので、彼女の真 の姉らしさは製品版で、ということになる でしょう。

・一条鈴音(四女)

一条家きっての元 気娘で、周囲に明る さと笑いを提供する ムードメーカー。

主人公とは一つ年 上になる鈴音姉は同 じ学園に通っており、



登校から下校、放課後の寄り道まで一緒に 付き合ってくれる(付き合わされる)、親友 のような間柄。

笑いを取るためなら身体を張ることもい とわない芸人気質を感じる楽しいお姉ちゃ んで、芝居かかったコミカルな口調のセリ フが多い。

「ほれほれ、あたしの隣に座れい」「しか しあれじゃな。二人では心許ない。助っ人 をよぶぞえ」「あ、走馬のお友達ですかな? あたくし、姉のジョセフィーヌです」

※毎回キャラが変わっているような口調 になっていますが、仕様です。

主人公とは、年が近いこともあり、遊び 友達のような関係。「ブラコン」とは違う次 元の仲良し姉弟で、主人公から見ると、人 懐っこくてよく遊んでくれるお姉ちゃんと して映ります。

一緒に行動している場面が多く、楽しく 面白い性格もあってか、発売直前の人気投 票ではトップを勝ち取りました。(2位は楓 子姉さん、3位はミサお姉様)

・一条澪緒(五女)

主人公とは数か月差のお姉ちゃん。

145cm の小柄な身長、 ちょっと内気な性格、 常に抱いているクマの



ぬいぐるみ、とてとて走馬の後を付いてくる様子は、まるっきり妹のようだが、でも やっぱりお姉ちゃん。(学園では同級生)

作中では、無理にお姉ちゃん風を吹かせることもなく、素直な性格がそのまま描かれています。

もし彼女が妹だったとしたら、歯牙にも かけないキャラクターなんですが、自分よ り早く生まれたという設定だけで敬礼した くなる筆者の都合良さはこの際さておき。

鈴音姉とともにつるんで行動するので、 接触時間は長いです。

体験版では、強力な姉要素を感じるイベントはありませんでしたが、敢えて姉ゲーに澪緒ちゃんのような姉を出した意味が製品版にはあるのかも?

・明日原ミサ(明日原家長女)

お隣の明日原家の 長女。日本人とフラン ス人のハーフ。

立ち絵をひと目見 た時点でビンビン伝 わる女王様気質は期 待通りでした!



ビシッとしたスーツを身にまとい、大手 企業に勤める彼女は、強い自信とプライド を持ったオトナの女性。

主人公に対しても、有無を言わさず従わせるような物言いをするものの、横暴やワガママを通すことまではせず、最後の部分で理解と良識を持っているのが何ともずるい。何より、3年ぶりに地元へ帰ってきた主人公のことを、我が弟が帰宅したかのように喜んでくれたのが本当にずるい。もしまサお姉様がお高くとまっているだけの姉だったら、こんなに好きにならずに済んだのに!

彼女もまた明日原家長女の自覚を持ち、 仕事は忙しくても家族のことを気にかける 様子が体験版ですでに見え隠れしています。 女王様は女王様でも、臣下に対する義に篤 い女王様。大体、隣のお宅の弟くん(=主 人公)にまで気にかけてくれるような面倒 見の良さを持つ姉ですから。

ミサお姉様の立ち位置で忘れてはならないのは、 楓子姉さんとの因縁対決。

家庭的で温和な楓子姉さんと、キャリア ウーマンで性格きつめのミサお姉様は、顔 を合わせるたびに対抗意識丸出しのロゲン カが勃発します。

「しわしわっ!」 vs「厚化粧!」 「バーゲン女っ!」vs 「ブランドの亡者っ!」

.....

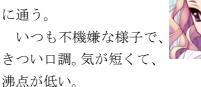
低レベルの罵りあいである。

これが実は「ケンカするほど仲が良い」 ことの表れで、作中には出てこないが、2 人で食事に行くような仲なのだとか。

製品版で、さらにこの 2 人の仲の良いケンカを見られるのでしょうか?

・明日原アルル(明日原家双子次女)

明日原家の次女にあた る双子の一方。主人公よ り一つ年上で、同じ学園 に通う。



主人公に対してもそれは変わらず、ツン ツンした態度も好意の裏返しではなくて、 そもそもの性格的な問題のように見受けら れます。

彼女がそんな短気な性格になってしまったのには理由があるようなのですが、それは製品版で明かされる模様。

人を寄せつけない態度の裏には何が隠されているのか、明日原家には体験版では分からない謎が多くて気になります。

・明日原クララ(明日原家双子次女)

明日原家の双子の一方。

アルルとは正反対に おっとり型の性格で、 主人公にも、誰に対し ても愛想の良い女の子。



ただ、走馬の男友達で弟仲間の千鳥に言わせれば、その愛想の良さが問題なのだと 指摘する。

愛想は良いが、彼女に対しもう一歩踏み 出そうとする者には拒絶する冷たさがある のだという。

ルル姉とララ姉、いずれもクセのある双 子お姉ちゃんで、どうやら訳ありのようで すので、ここで深くは追及しません。

・クローディア・ギグス(先輩)

学園の自治会役員を 務める先輩。イギリス 人だが日本語を話せる。

両親の教育により、 カタカナ名とは裏腹に 大和撫子。口調は丁寧、 聡明で物腰穏やか。



今度の姉しよは先輩派へのサービスも忘れていません。

■新たな「姉しよ」の始まり

「姉しよ」の看板を汚すことのないよう、 Candy Soft の総力を結集して製作している 意気込みを感じました。

鈴音「だってお姉ちゃんたちはね、み~んな、 走馬のこと好きなんだぞぅっ!」

こんなセリフもぽんと飛び出す、お姉ちゃんの愛いっぱいの姉ゲー。

「姉、ちゃんとしようよっ!」シリーズ の新たな伝説が始まる予感がしました。



姉@マス

-THE ANE MASTER-

ブランド	カウパー
ジャンル	姉弟溺愛型アドベンチャー
発売日	2009年11月20日

■姉を極めし者

相思相愛の姉弟が繰り広げる相互溺愛エロコメディ!!

天然の純生真性姉弟の大恋愛物語に各界から絶賛の嵐!!

これであなたも"ザ・姉 MASTER"!!

姉ゲー好きでなければ買っていただかなくて結構。姉弟以外の登場人物に興味がなければプレイする意味なし。とでも言いたげな挑発的メッセージ。これは、裏を返せば姉ゲーファンなら必ずプレイせよとの意。

サブタイトルは「THE ANE MASTER」。 欲しい! この称号が欲しい! 全姉連 を代表する者として、絶対に得たい。

そんな訳で、姉マスターの資格を得るべく本作を手に取りました。

※今回のレビューは、各ルートの展開を予想させる記述があります。核心には触れていませんが、ご注意ください。

■夫婦より深い姉弟の絆

「姉@マス」に最初に触れたのは、公式 サイトで公開されていた体験版でした。(序 盤だけプレイできる体験版ですが、結構な 長さをプレイできるので、貴弟が未プレイ ならば手始めにダウンロード推奨)

お姉ちゃんに背中を流されるドキドキお 風呂タイムと、お隣お姉ちゃんと久々に再 会を果たすシーンが描かれた後、小学校低 学年の頃の回想シーンが始まります。 この回想シーンが、良い意味で長い。「こんなこともあったよね」程度じゃないんです。後から思えば、これは回想ではなく、 姉弟物語を構成する重要な一章でした。

まだ幼さの残る主人公。やや病弱なその頃の彼は、弟のことを心配して見守る姉に反発し、友達の前でカッコつけようとして姉を邪魔者扱いしてしまう。そんな自分が嫌だと思いながら…。お姉ちゃんは、弟からの冷たい扱いに悲しみつつも決して見放さず、そのけなげな姿が印象的。

しかし、ある事件を境に、姉弟は雪解けの時を迎えます。この世でたった二人の姉弟。互いに心から信頼しあえるかけがえのない存在。子ども心に深く結ばれた姉弟の絆は、その後も長く二人をつなぎ止める役割を果たすことになります。

「夫婦と姉弟だったら、姉弟の絆の方が上だ よ。分かんないかもしれないけど」

「夫婦は他人になれるけど、姉弟は永遠に姉弟 のまま。そう言ったら分かる?」

これは、姉弟にとって第二の母親ともいえる叔母の姉さんが、まだ子どもの主人公に言ったセリフ。姉萌えの真理を表す一言ですが、姉弟仲良くしなさいねと諭す意味でしか最初は捉えていませんでした。しかし、このセリフが後々になってじわりと効いてきます。一生続く姉弟の絆は、二人をつなぎ止める赤い糸か、それとも二人を束縛する足かせか…。

反発から和解の長い過程を経て、姉弟二 人はやがて思春期を迎えます。

■二人一組の篠塚姉弟

大きくなった姉弟のその後を語る前に、 人物関係を整理。

主人公の姉・篠塚琴音お姉ちゃんは、言うまでもなくブラコン。果てしなくブラコン。弟の真琴をベタベタに可愛がり、いつも一緒に居たがる甘えん坊な一面もあるお姉ちゃん。学園では優等生で真面目な生徒。

彼女に対抗するヒロイン1人目は、お隣に住む潤姉。主人公にとって、実姉以外の初恋の相手。姉弟二人が信頼する姉貴型幼馴染みで、主人公をよくからかうが、心の底では二人のことをいつも気にかけている。

ヒロイン2人目は、二十代前半にして未 亡人の叔母・綾香姉。姉弟の両親が家を空 けている間の保護者として、二人と同居し ている。(この他に同級生二人がいますが、 ここでは省略。)

実姉&ヒロイン2人に挟まれるのが、主人公・真琴。自分を愛してくれる琴姉を心から慕い、愛情に応えようとするいい弟。 お姉ちゃんの過剰なブラコンほどではないが、シスコンと言われても反論できないお姉ちゃん子。洗濯前の姉の下着に欲情してしまういけない弟ではあるけれど…

琴姉「えーっと……パンツパンツ……あった♪」 琴姉「ごめんね、マコちゃん。ちょっとパンツ借 りるね?」

といった調子で姉も姉なのでお互い様。

人物関係を図式化すると、相思相愛の琴音&真琴姉弟(以下「篠塚姉弟」)を核とし、幼馴染みとして二人と接する潤姉、準母親的立場として二人を見守る綾香姉の三角構造になります。「主人公+3人のヒロイン」ではありません。姉ゲー観点からは、**篠塚姉弟はセットです**。基本は篠塚姉弟が添い遂げる。だが、潤姉、綾香姉または同級生が、姉弟の関係を修正するルートもある。そう

いう捉え方が分かりやすいと思います。

■一線は踏み越之たが・・・

ストーリーに話を戻します。

篠塚姉弟は、楽しいこと、つらいことを 経験しながら成長していきますが、やがて 一線を踏み越えてしまいます。相当な覚悟 の元に。

ぼくたちがどういう道を歩み始めているのか— それが険しいものであるかくらい、ぼくも琴姉 も、十分よく承知している。

少なくともぼくは、若さに任せて行為に及んだつ もりはない。

(中略)

どんな世界のルールも、決まりごとも……ぼくと 琴姉の関係に干渉することはできない。

世間は許容しない姉弟間の禁忌を本人達も自覚して、それでもなお二人の愛情が上回ったことの結果。初めこそ迷いはありましたが、後悔はありませんでした。

ここで注意すべき点の一つ目は、これはまだ共通ルート上のイベントであること。個別ルートはこの後になってから分岐します。つまり、実の姉と弟で関係を持ってしまうことは、本作では逃れられない既定事項であり、あくまで一つの通過点なのです。篠塚姉弟が犯した禁断の選択は、果たして二人にとって幸せをもたらすのか? 周囲の人々は二人にどのような目を向けるのか?ここが『姉@マス』の最重要テーマに発展していくことになります。

注意すべき点の二つ目は、姉弟の禁忌を 犯したこの一件が、二人にとって姉弟の絆 を深めた一方で、孤立を予感させる描き方 になっていること。

もともと篠塚姉弟には、本当に信じ合え る相手はこの世で二人だけの姉弟のみ、と いう意識がありました。もちろん、二人は 信頼できる家族、親戚、友人達に囲まれ、 心から日常を楽しく過ごしているのですが、 それとは違った次元で心を許しあえるのは お互いだけという意識があるように描かれ ています。(ゲーム序盤の長い幼少期の回想 がここに来て生きてきます)

世界中を敵に回しても二人で強く生きていこうと決意する悲壮感すら漂うのです。

「どんな世界のルールも、決まりごとも……ぼく と琴姉の関係に干渉することはできない。」

たとえ世間は許さなくとも、僕ら姉弟は 固く愛し合っていると言わんばかりの決意。 普通なら、どんな障害も乗り越えようと する美しい姉弟愛に映るのですが、本作で は孤立に酔う意識すら見えて、あまり好ま しい姿には描かれていません。

愛する姉との距離が縮まるほど、周囲と 溝が深まっていく状況に、プレイヤーの不 安が煽られていきます。

■姉弟のあるべき姿とは……

個別ルートに分岐するあたりから、本作 の真のテーマが見えてきます。

筆者の攻略順序はいつも直感で決めていますが、今回は実姉の琴姉ルートからにしました。だって、こんなにお姉ちゃんに愛されておいて断るなんて考えられなかったから! 忌まわしい姉弟と思われたっていい。琴姉と夫婦のように添い遂げられるのなら!

そんな思いで突入したのですが、禁忌を犯した二人に対する世間の目は冷酷で。姉弟と近しい関係の人々も、ある者は距離を置き、ある者は二人を引き離そうとする。口先では覚悟をしていた姉弟も、現実を突き付けられ、困難を強いられながらも二人は幸せを掴んでいく……ストーリーに一応なるのですが、読後感がすっきりしない。

バッドエンドではないがトゥルーエンドでもない。二人は幸せになったかも知れないが、周囲は二人を祝福したのだろうか? その幸せは二人の閉じた世界だけの幸せではないだろうか? そう思わずにいられないエンディングなのです。

心の中にモヤモヤを抱えたまま、同居する母親代わりの叔母・綾香姉や、お隣姉貴 の潤姉、同級生二人組のルートを進めると、 本作の真意が読み取れてきます。

『姉@マス』は、実姉弟間での近親相姦はやはりタブーであるとの前提の上で、一線を踏み越えて道を誤った姉弟が正しい道へ戻っていく過程を描く作品でした。(何をもって「正しい」と呼ぶかは争いあるでしょうが、この作品世界ではこれが「正しい」とされているのです。現実同様に。)

現実で許されないことも許されるのがお 約束のアダルトゲーム世界で、敢えて現実 の倫理に沿った脚本は異色。背徳感を乗り 越えて進んだ先が行き止まりだったなんて 経験は、筆者の姉ゲー歴の中で初めてです。

かの名作姉漫画『アットホーム・ロマンス』(風華チルヲ)には、姉・弟お互いの幸せを追求し尽くした結果、二人が手を離すシーンがありましたが、展開の方向性としてはほぼ同じと言えるでしょう。

熱に浮かされ身も心も寄せすぎた姉弟が、 引き剥がされる痛みに耐えて正しい姉弟関 係に戻る過程もまた非常に尊くて感動的。

姉ゲーでありながら、姉離れ・弟離れが 目的なんて逆説的ですが、それでも『姉@ マス』は堂々の姉ゲーでした。

■キャラクター

• 篠塚琴音(姉)

主人公の二つ年上の 姉。品行方正・才色兼 備で、学園では人望も



ある自慢の姉だが、弟への愛情は暴走気味。

幼少の頃は内気だったこともあって弟には鬱陶しがられていたが、いつも病弱な弟のことを心配していて、その頃から弟への愛情が過剰に蓄積されていった結果、重度のブラコン病患者となる。

「姉が弟を可愛がるのは、普通のことだもん…」「あら? ……お姉ちゃんと弟がデートするなんて、別に珍しいことじゃないでしょう?」「マコちゃんは、女の子なんかに興味ないんだから」(=私以外の女の子は見ちゃダメ、の意)

話が進んで、弟と愛情を確かめ合う仲になると、ブラコン熱・弟独占欲はさらに加速して、狂気に片足を突っ込んでしまう。

初めのうちは「このままじゃいけない」と自制はするが、やっぱり耐えきれなくなって、寝ている弟の部屋に侵入し匂いを嗅いでトリップし、全裸で弟にまたがってしまう HENTAI お姉ちゃんに変身。

さらに病気は進行し、自分で自分を制御 できなくなる頃からがストーリーの肝。

琴姉は病んだままがいいのか、それとも 目を醒まさせてあげるべきなのか…。

·柏木綾香(叔母)

篠塚姉弟の叔母。歳はまだ二十代半ばながらも夫と死別した未亡人。



姉弟の両親が長期不在

となったため、母親代わりに同居している。 性格温厚でおっとり型。篠塚姉弟のこと は可愛い弟妹のように接してくれる。

旦那を亡くした悲しみは完全に癒えていないようだが、あまり表には出さない。

他人の行動や気持ちに敏感で、姉弟が一 線踏み越えたことも察知する。篠塚姉弟に とっては理解のない大人の代表に映るが、 恨まれてでも二人の将来を案ずる綾香姉の 心中は察するにあまりあって複雑です。

・鷺宮潤(幼馴染み姉)

近所に住む幼馴染みで、 篠塚姉弟にとっては頼れ る姉貴分的存在。

毎朝、弟分の真琴にた わわな胸を押しつけて挑発する小悪魔系の 性格は琴姉をいつもハラハラさせているが、 内面は繊細で、面倒見の良い性格の持ち主。

篠塚姉弟が道を踏み外しかけていること に気付いた彼女は、姉弟に本当の幸せをつ かみ取ってもらいたい一心で、敢えて憎ま れ役を買ってでも二人を引き離そうとする。

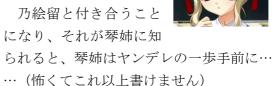
「でもね、琴音……私はあんたがこれ以上……道ならぬ道を進んで……マコまで巻き込もうとするなら― 私は琴音のこと、引っぱたいてでも 止める」

親友以上に二人の事を真剣に考え、正しい道へ導いてくれる潤姉に心底惚れました。

·乃絵留&茜(同級生)

学園の同級生二人組。 口より先に手が出る茜 (上)と、控えめでアワ ワしがちな乃絵留(下) の仲良しコンビ。

姉要素は共にゼロだが、 真琴に密かな好意を持っ ている。





■現実志向の重厚作品

姉弟の背徳感だけでなく、その先に待ち 構えることまで踏み込んだ意欲作でした。

ぬるい姉ゲーより、重いテーマを含む姉 ゲーが好みなら、強くお勧めする一本です。



しすたー・すきーむ2

ブランド	M de PINK
ジャンル	あねもえアドベンチャー
発売日	2010年2月20日

主人公 『梁川潮里 (やながわしおり)』 には二人の お姉ちゃんがいました。

周囲にシスコン呼ばわりされ、このままではいけない と思った彼は、お姉ちゃん依存から脱却しようと決意し ます。

しかし、そんな矢先、彼の元に差出人不明のメールが 届きます。

『お姉さんと学校でキスした写真を送ってください。 さもないとあなたの恥ずかしい秘密を公開します』 …と。

■お姉ちゃん増えちゃいました

姉宛てに差出人不明で送られてきたメールのHな指令を、弟と一緒にクリアしていく姉ゲー『しすたー・すきーむ』(2005年)の続編が登場。

謎のメールで与えられる指令をクリアしていくスタイルを引き継ぎながら、舞台と登場人物は一新。そ・し・て、お姉ちゃんが2人に増員されて帰ってきました!

前作では、「校内で姉弟でキスしろ」程度の軽い指令から、姉弟の一線を踏み越えてあんなことやこんなことを……。指令をクリアしていく中で、お姉ちゃんと弟の想いが深まっていく、姉ゲーと呼ぶにふさわしい大満足の1本でした1。

今回の『しすたー・すきーむ2』も、ジャンル名「あねもえアドベンチャー」を掲げて、姉ゲーであることを積極的にアピー

ル。お姉ちゃんも2人に増やしてくれて、 発売前から姉ゲーマー注目の的となってい た1本でした。

■ただの「姉2人」じゃない!

前作プレイ経験者としては、どうしても 前作と比較をしてしまうのですが、とにか く今作で最も大きく変わったなと思う点は、 お姉ちゃんが2人に増えたこと。いや、比 較しなくても、この「姉2人」というのが 本作で一番の特徴だと言えます。

そのお姉ちゃん達は、1歳上の姉貴・美 咲姉と、2歳上のお姉ちゃん・あまね姉(通 称あま姉)。

二人はいずれも実のお姉ちゃんで、同じ家に住み、同じ学園に通う姉で、どこにでもあるような家庭です。特殊事情と言えば、上の姉がちょびっとブラコンが過ぎる、ってトコでしょうかね! (彼女の甘すぎる点は後に回します)

お姉ちゃん2人の姉ゲーなんて今どき珍しくもないとお思いの貴弟。ある意味それは正しいのですが、今回は2人の姉と弟との関係が、他の姉ゲーとはちょっとばかり違っているのです。

例えば、姉が2人いるならば、一人はおっとり甘甘、もう一人はきつめのアネキ型のように性格面で描き分けて、あとはプレイヤーのお好みで、あるいは二つの味をお楽しみください……といった形が普通でしょう。どちらが長女になるかは時の運みたいなもので、仮に小悪魔系の姉が長女にな

¹ 会報第9号で紹介。今からプレイしてもまったく 見劣りしない良作です。

ったならば、甘甘なお姉ちゃんが次女で、 2人のお姉ちゃん(のルート)の好きな方 からプレイすることになるのが姉ゲーの定 番スタイル。

ところが本作では、次女の美咲姉は主人 公と年が一つしか違わず、性格が割とがさ つなことから、弟とはまるで男兄弟のよう に性別差・年齢差を感じさせない間柄。そ れに対して長女のあま姉は、真性のブラコ ンで甘甘ながらも、優等生ということもあ って「お姉ちゃんはしおちゃんをそんな弟 に育てた覚えはありませんよ」と年上の自 覚を強く持つ過保護な姉として映ります。

年が近くて友達のような関係の次女姉と、はっきりと年上らしさを打ち出した長女姉。それぞれの個性よりも、まず姉弟の距離感を先に設定したように思える組み合わせによって、「ケンカもするけど何でも話せる姉貴」と「年上の立場から弟を優しく見守ってくれる憧れのお姉ちゃん」といった性格付けが生まれて、姉への接し方も自ずと変わって来ることになります。

ここから生まれる面白さは、次女姉と弟がよくつるんでいることから、この二人がペアで扱われ、二人揃って長女姉には頭が上がらないように描かれている所。式で表すと、「長女姉>>>次女姉≧弟」。



左から次女・弟・長女。お姉ちゃんが、 さらに上のお姉ちゃんに叱られるの図。

3 姉弟のヒエラルキーが強調された作品 であることがお分かり頂けたでしょうか。

■姉弟だから恥ずかしくないもん

前述のように、姉弟の距離感の近さから、 謎の指令を最初に相談し一緒にクリアして いくのは次女の美咲姉。男兄弟のような仲 の彼女とは、「姉弟でキスしている写真を撮 れ」のような指令も割と淡々とこなしてし まいます。

この照れや恥ずかしさの無さは前作譲りで、仮に赤の他人である同級生や幼馴染みの女の子とだったら、キスなんて恥ずかしいこと絶対無理! と拒絶反応が先に立ち、それをどう口説いていくかが中心になっていくと思うのですが、この姉弟の場合、いつどこでどういう体勢でキスすれば、周囲から目立たずに上手く写真が撮れるかが問題の中心になっています。キスすることへの抵抗感は全然ないかのように。

姉弟に与えられる指令はどんどんエスカレートしていき、ドン引きするような指令まで出てきますが、「いくら姉弟だからといって、そんなことする!?」といった内容でも、姉弟にとって問題の中心は、他人に見つからずにどうやって上手くクリアするかになっていて、どう見ても論点がずれています。

弟のフリチンを見ることくらい、姉貴に とってはどうってこともない日常がリアル なのかどうか負け組の総裁には分かりませ んが、ここには確かにそういう世界が存在 するのです。

■ストーリー性がやや手薄に?

メールで送り付けられる H な指令を姉弟でクリアしていくこのシリーズ。前作は、姉弟の仲が次第に深まっていく様子を上手く絡ませて話が展開しましたが、今作はその辺の要素が手薄になってしまいました。

甘甘のあま姉は最初から弟ラブ度マック

ス、がさつな美咲姉はブラコンとは逆方向 の性格。どちらも姉弟愛を発展させていく ストーリーはちと厳しい面がありました。

毎日があまり代わり映えしなくても、リアル感のある姉弟の日常を見られれば十分と思っていましたが、人間欲張りなもので、もう少し心境や関係の変化があれば良かったのにと思わずにいられません。特に美咲姉については、「アンタのこと、この間まで何とも思っていなかったけど……」みたいなお約束が是非とも欲しかったのに、大して発展せず終わってしまいました。これがリアルだと言われてしまえばそれまでなんですけれどね。

ただ、どのルートもラストの迫力が薄かったのは事実だと思います。残念。

■キャラクター

・梁川あまね(長女)

主人公より二つ年上 の姉。

学園では真面目でお しとやかな優等生で、 しっかり者。バランス の良いスタイルを持つ美人なお姉さん。



一見、常識人っぽく見える姉だが、実は 人の目も気にしないオープンブラコンなお 姉ちゃん!

朝はおはようのキスで弟を起こし、学園でも同級生の目の前で優しくチュッ。大好きな弟にキスすることが生き甲斐の姉。そんな嬉しそうにニコニコされたら、たとえ周囲の目が気になっても、バカップルになってあげますとも、ええ!

時には「やっぱり夏の暑い日には、トランクスに限るよね。」と弟のパンツを拝借するお茶目な趣味もありますが、基本的に弟思いの優しいお姉さん……と思っていたら、弟が同級生の女の子を家に連れて来た時、

彼らは、そんなに進展していただろうか? しおちゃん(弟)に、ちょっと仲の良い女友達 がいるのはいい。

だけど。しおちゃんは、お姉ちゃんの物なのだ。 だから、しおちゃんが、わたし以外……

100歩譲って、みさちゃん(次女)なら許す としても、他の女の子に目を奪われるようなこと があってはいけない。

ー瞬、あま姉の目の色が失せたような… …いや、気のせい気のせい。(ガクブル)

・梁川美咲(次女)

一つ年上の姉。

慎ましさやおしとや かさとは逆ベクトルの、 大雑把な性格の姉貴。

女の子らしい繊細さ はないが、その分気兼 ねなく付き合えて、頼 りがいのある姉貴。



そして……、姉貴の拳骨を覚悟してでも 敢えて言わねばなるまい、彼女の悩ましい ほど太ましいボディのことを。

むっちり感とはまた違うずっしり感。

世の中、全ての姉がモデル体型とは限らないことをリアルに思い知らされるだろう。

しかし、いつの間にか美咲姉のカラダに 魅入ってしまい、抱きついたらどんな感触 だろうと妄想している自分にも気付くだろ う。

『しす・すき2』のボスは、間違いなく 美咲姉である。

■これは一体「リアル」なのか?

恥ずかしがるべきところを恥ずかしがらず H な指令に挑戦する、ちょっと不思議な姉弟。まさか現実では「これくらい姉と弟なら当然だよ~」って事ないっすよね??



青春ポップ!

著者	北河トウタ
発行	ヤングチャンピオン烈コミックス
発売日	2010年5月5日

■憧れのバンドのボーカルが・・・!

素性不明のインディーズバンドのボーカルは、10年前に生き別れた姉だった!

手の届かない雲の上の存在だと思っていた人が、実はお姉ちゃんだったという漫画の世界のような漫画です。



主人公朔太は、 、特通 に取りある。インドのマインのでは、 の高1男子がいる。 インマスト」に かられる。 では、 では、 でいるがいる。 でいるがいるがいる。 でいるがいるがいる。 でいるがいるがいる。 でいるがいるがいる。 でいるがいるがいる。 をはまる。 をはまる。 にはまる。 にはなる。 になる。 にな。

これが、10年前に

両親の離婚によって分かたれた姉弟の劇的 な再会シーンなのでした。

ただ、朔太の方は、姉のイヴこと詩織姉のことに初めは気付かず、むしろ憧れのボーカルが姉だったという事実への戸惑いが大きくて、心の整理が追いつかない様子。朔太の家で姉と同居することになったものの、10年のブランクは簡単に埋まるものでもなく、"今"の姉にゆっくりと近づいていこうとする弟の姿が見えます。

対する姉の方は、会いたかった弟との再会を喜び、ブランクも感じさせず、すんなりと元の姉弟関係に収まってしまいます。

詩織姉さんはもともと気さくで、誰とでも打ち解けやすい性格も手伝って、弟と触れ合ったり顔を近づけて話をすることも意に介さない一方、弟は美人の姉との共同生活に慣れず、内心ドキドキの日々。



姉弟だけれど、まだまだ近づく余地がある。第1巻ではそんな距離を感じさせます。

■姉弟を中心とした青春群像劇

本作では、姉弟に深く関わりそうな登場 人物が多数存在します。

朔太をお兄ちゃんと呼んで付きまとう近 所の子、朔太を密かに想う同級生。詩織姉 さんに想いを寄せていたが、弟の出現によ って対抗心を持つバンドメンバー。

姉弟が主人公の漫画ですが、高校生活や バンド活動を通して、恋愛要素を織り交ぜ た青春群像劇が中心。その意味で、ブラコ ン・シスコン描写のみを期待するのではな く、青春まっただ中を生きる姉弟の姿を読 むのが本作の楽しみ方といえるでしょう。



DCD Diamond Cut Diamond

著者	田口ケンジ
発行	少年サンデーコミックス
発売日	2010年5月13日

■姉萌之系新人漫画家の…

姉萌え系異能者サスペンス漫画『DCD』 の紹介の前に、田口ケンジ先生の紹介を。

先生の作品に最初に触れたのは、小学館の Web コミックサイト「クラブサンデー」から。

そこで新人王のタイトルを獲った『つりらば』が姉漫画とのタレコミを元に読みに行ってみたところ、確かにその通りでした。

祓魔師の家系に生まれた主人公・執行架月(しぎょう・かげつ)は、オンナに一生モテない呪いをかけられた男子高生。だが、そんな不運な彼には、満月(みづき)という激しくブラコンだが頼りになる姉がいた。



ある日、主人公は忌まわしい呪いを解こうと一計を案じるが、失敗して窮地に陥ったところに姉が颯爽と……というお話。

見ての通り、お姉ちゃんは巫女さんで、



弟の上に馬乗りになったりと、単なる姉キャラが登場する漫画よりもワンランク上の姉漫画だったのです。

『つりらば』に続き、今度は喧嘩っ早い双子の姉に振り回される弟を描いた『姉パニッ』を発表。作者コメントで姉漫画びいきであることを匂わせ、姉属性読者の注目を集めていた矢先に発表されたのが、今回の『DCD』1でした。

■かッつよくて小悪魔で

超能力を持つ小学生9人組、通称「エスパー9」が登場する人気の超能力番組があった。しかし、放送中の事故により番組打ち切り、エスパー9も解散。それから7年後、メンバーの一人が殺される事件をきっかけに、エスパー9達を巻き込んだ騒動が

16

¹ 2009 年 11 月から Web 漫画サイト「クラブサン デー」上で月一連載。

勃発する…というストーリー。

当時のメンバーの一人・黒須繋介(クロ)は、事件の真相を探ろうとする過程で、同じくメンバーの一人で姉のように付き従っ

ていた執行 夕闇 (ヤミ 姉)と再会す る。

も人士のでの会よン方とはのにき弟たなのました。は、別がかシ抱さしました。は、



く姉ハグ1です!

ヤミ姉はとにかくクロとのスキンシップが大のお気に入りで、自身の豊満すぎる胸をぎゅうぎゅう押しつけて可愛がるシーンが多数。もちろんそこに照れなどはなく、

「ほれほれ~」と小悪魔系特有の挑発もかましてくれます。



この遠慮の無いやりとりが姉弟感を高めていて、一層姉漫画らしくしています。

姉漫画であると同時に、異能者サスペン

ス漫画でもある本作。エスパー9を狙う刺客「アンチ」の正体を暴いて追い詰めるのがストーリーの本筋で、クロは何度も「アンチ」に命を狙われます。

クロは、周囲の人間の感覚を共有する"五感リンク"能力を持つが、物理攻撃に対しては限界がある。弟のピンチにビリビリと参上するのは、電気を操る能力者ヤミ姉!

「弟に危険が迫る→姉参上」は、『つりらば』から続く田口漫画の十八番シーン。悔

しいけれど、こ のベタな王道が カッコいい。

弟に手を出さなり は姉とてもいったは見いなり は強としているでしたがなり は見いがしたがでします。



■著者公認の姉漫画

実姉弟でもなく義理の姉弟でもないのに ヤミ姉に姉らしさを感じるのは、クロとの 間に男女関係を持ち込んでいないからでし ょう。「男女関係」は「恋愛要素」とも言い 換えられます。

二人を繋ぐのは、家族愛、姉弟愛に類するもの。作者公式コメント、出版社サイトで"姉萌えマンガ"と大々的に謳っているのは伊達じゃありません。

2巻以降では、事件の真相の一部が明ら かになったり、ヤミ姉のライバル的な女王 様キャラが登場したりと目が離せません。

ちなみに、作者公認のヤミ姉仮想 CV は 伊藤静様だそうなので、お読みの際には御 前ボイスで脳内再生してお楽しみください。

¹ 弟に夢中になるあまり、発作的に自らの胸に弟の 頭を埋めさせる抱き方。姉の独占欲と姉弟の上下 関係を象徴する行為。弟に大きな困惑と喜びを与 える。



姉様淫香 (あねざまいんこう)

著者	東麿 樹
発行	富士見コミックス
発行日	2010年5月20日

■姉モノオンリーの初単行本

著者・東麿樹先生は、この本が初めての 単行本とのこと。記念すべき初コミックス が全部姉作品という注目の1冊です。

著者初単行本と言っても、作品のレベル はどれも高く、表紙だけ立派で中身はがっ かりなんてこともありません。

収録されている 12 作品は、一部変化球はありますが、全て姉モノ。著者あとがきに姉萌え宣言はありませんでしたが、作品から発せられる姉好きオーラは隠しようがありません。

ここにまた一人、姉系漫画家が発掘されました。

■お姉ちゃれ食べ比べ?

収録作は全て「姉モノ」でくくられます が、内容、方向性は幅広いのが特徴。

イチャ甘スタイルの一方でダーク系、姉優位型もあれば弟優位型も、姉弟の初々しさを描いたのもあれば既に回数を重ねた姉弟関係を描いたのもあり、多種多様な姉弟の姿が用意されています。

一口に姉好きと言っても好みは様々でしょうが、どんな読者でも楽しめる話があるはず。裏を返せば、あまり好みでない話も含まれている可能性があるとも言えますが、やむを得ないところ。読んでみたら食わず

嫌いなだけだった、ってこともありますから、手に取ってみたからには是非通読を。

全方位の作品を描かれる先生ですが、や や暗めの、姉弟で関係を持つことへの抵抗 感や後ろめたさをにじませた話がお得意の ようです。コメディ調のブラコン全開お姉 ちゃん話は少数派で、弟読者の胸にズンと 来る、姉の複雑な思いを深く浮かび上がら せる話が印象的。

いずれにしても、姉要素抜きには成立しないストーリーばかりなので、1にも2にも姉目当ての姉ジャンキーなら当たりの多い本でしょう。

■名話ピックアップ

「魔法が解けるまで」

しつこく言い寄ってくる男を振るため、 弟に彼氏のフリをしてもらい、諦めさせる 作戦を姉は実行する。

果たして作戦は成功。せっかくだからと そのまま恋人気分でデートに出掛ける姉弟。 姉に振り回されたあと、自宅に帰って恋人 ごっこは終わりかと思ったら……。



本書で一番の傑作でした。

一日だけのウソ恋人は、ありがちなネタ ですが、実の姉弟ならではの話に上手く絡 められています。

秀逸なのは、本当は好きでたまらない弟に対し、恋人関係を演じている間も決して好意を表に出さず、内に秘め続ける姉の姿。愛してはいけない相手と結ばれた喜びを全身で感じながら、でもそれを口にすることのできない姉の切なさがこれでもかと伝わってきます。



この上、ラスト1ページの落とし方もすごい。最後まで切なさ炸裂スタイルで押し通します。安易なハッピーエンドで落とさないことで生まれる余韻がありました。

「素直になれたら」

「お姉ちゃんはツ ンデレなの?」と言 い出した弟。友達に、 お前の姉ちゃんはい つもツンツンしてい るから、いつかデレ に変わるんだと吹き 込まれたらしい。

確かに姉はいつも ツンとしている。し



かしそれは猛烈な「弟デレ」を隠すための 仮面に過ぎなかった!

ただ、隠していたつもりだったのは姉だけで、弟くんはツンの裏に隠されたお姉ちゃんの優しさと、隠れ弟デレであることに気付いていた。そして、僕もお姉ちゃんと同じ気持ちだよと告白して……。

実は相思相愛だったことに気付いて盛り

上がっていく姉弟の姿が、決して派手では なくてもひしひしと伝わってきます。

「たとえばこんな姉妹」

姉コミックの中では異色の姉妹モノ。ゲームに熱中するお姉ちゃんにヤキモチ気味な可愛い妹。一緒にゲームしよ?といちゃついているうちにお姉ちゃんの悪戯がエスカレートして……。

百合専門誌でなければ見られないような 題材も、単行本描き下ろしゆえに実現。

女の子としてお姉ちゃんに可愛がられる 倒錯的な世界が味わえます。

「Incest i

両親の寝室を覗き見てしまった内気な弟に、お姉ちゃんがこちらへいらっしゃい、 と招き入れた姉の部屋で…。

要は「お姉ちゃんが教えてあげる」話ですが、落ち着いた雰囲気の中でじわじわと 興奮を高め、おとなしい姉が上から優しく のし掛かり、弟の記念すべき初めてを見守 る様子が丁寧に描かれています。

「姉物」(前後編)

2話構成のダーク系。

弟の言いなりにさせられ、家族の前でき わどいプレイまで強要される姉。姉弟の歪 んだ関係は父も知る所となり、うわべだけ だった家族は崩壊していく…。

一方的に姉をひどい目に遭わせるもので はないが、重い話も受け止められる弟なら 読みこなせるはず。

■あれこれ読めて満足の姉本

とにかくいろんなお姉ちゃんが登場する 姉本。豊富なバリエーションで満足感も高い。姉弟愛を感じさせる描写も抜かりなく、 十分な合格点に達している1冊でした。



なま姉

著者	七瀬瑞穂
発行	マックス・ポプリコミックス
発行日	2010年3月1日

■七瀬先生の姉オンリー2冊目

2008 年発行の『姉づくし』に続いて、お姉ちゃん系オンリー本としては2冊目の新刊となります。

今や、一人の作家さんが姉系中心の本を 出すこともしばしば目にするようになり、

「お姉さん系が好きで描いています」と 堂々と宣言し、漫画の内容も本当に姉好き で描いていることが分かる単行本が増えて きました。

七瀬先生も、その熱い姉魂(シスコン) がバリバリ伝わってくる姉漫画家さんの一 人で、筆者も主催に加わった姉オンリーイ ベントのゲスト原稿依頼も二つ返事で請け てくださった姉のような広い心の持ち主。

今回のあとがきの姉好き宣言も、赤裸々 すぎて手に負えません。

姉作家としてお姉ちゃんには多大なる愛を抱い ています!

どうしてあんなに姉は素晴らしいのでしょう…。 お姉ちゃんが弟の事をぎゅ~と抱きしめてくれ るだけで脳汁やいけない汁がでちゃいます。

あっははは。これはひどい症状。残念ながら、もうお医者様でも草津の湯でも治らないレベル。いやあ、シスコンをこじらせている人って、傍から見ていて本当に楽しいんですよね。

ん? 何だか視線を感じるような……。

■Sっ気バリバリから甘甘まで

当たり前ですが、本書は 100 パーセント 姉単行本。収録タイトル名は、

「姉コスッ!」「姉とオナホと」
「お姉ヘンッ」「らぶあね。」
「おねえちゃんえっちぃ」「姉しぼり」
「姉さんの気持ち」「姉!! ご主人様」
「姉姉らいふ (全3話)」

すべて「姉」にちなんだタイトル名。完 全完璧です。

七瀬先生は、Sっ気バリバリの姉がお好みのようですが、本書は甘甘タイプや天然なお姉ちゃんにも積極的に幅を広げ、果ては弟の方が一歩リードする場面もある(しかし結局は…)ストーリーもあり、前作に比べて一層バラエティ豊かに。暗い展開や重苦しい雰囲気は一切無く、背徳感を煽る表現は控えめ。ほとんどは、弟とイチャイチャしたがっているお姉ちゃんが次から次へと大登場する構成となっています。

■名話ピックアップ

「姉とオナホと」

姉にオナホを見つかってしまった弟。実はこの姉、弟を性的に開発している最中だったのだが、その弟が勝手にグッズを使っていたことを知った姉は……。

悪戯をした子のしつけを大義名分に、じ わじわと弟を責めるSなお姉ちゃんと、い じめられて喜んじゃう弟くん。



お姉ちゃんは弟くんを食べる気満々、弟 くんは食べられる気満々で、最後にはまん まと捕食されてしまうのでした。

「らぶあね」

小さい頃、いじめっ子から自分を守って くれていた優しい姉。

「おねえちゃんだいすき!!」

そう無邪気に言えとに言えといた子どりからして、「好った」とそのは、を持つには出るで、をからして、せものがえた。とそな、がはいで、がはいい。



「好き」。このシン

プルな言葉が特別に思えてくるストーリー。 今一度「お姉ちゃんが好き」という感情を 味わい直すことができます。

リアル姉持ちの弟は、今から隣の部屋に 行って「好きだよ、お姉ちゃん」と告って くればいいじゃん! ちきしょーめ!

「おねえちゃんえっちぃ」

姉にAVを見つかってしまった弟。少々 天然気味の姉は、初めて見るAVに興味 津々。「見て見て、すごいよ」とはしゃぐ姉 と一緒にAVを見る羽目に。姉のワクワク 感は次第にドキドキ感に変わっていき、「同 じ事してみようか…」と弟を誘う。

弟の方が「ちょっとだけだからね」と抵抗するのに、姉の方は好奇心が勝って積極的に絡みつく姿が見どころです。

「姉しぼり」

深夜、独り暮らしの弟のアパートへ、「やあやあ、我がおとうとよ~。元気にしているかぁい?」と酔っぱらいお姉ちゃん乱入。パンチラで挑発している内に、いつの間に

か姉弟で…。



る姉の素敵さ、分かりませんか? 酒は姉の魅力を倍増させる魔法の薬。

酔っぱらい姉の良さは、いずれ改めて。

「姉姉らいふ」(全3話)

一人で住んでいた弟の家に、姉2人が引っ越してきた!

長女の静音姉は母性豊かなお姉ちゃん、 次女の東華姉は唯我独尊なS系お姉様。1 話では東華姉が弟のおイタを叱り、2話で は静音姉が優しく弟をリード。3話では、 姉2人がかりで弟を厳しくかつ優しく責め 立てます。本書の締めくくりにふさわしい 迫力ある弟争奪戦。

■姉最高(カバー裏の一言よい)

最終ページの著者による各話紹介が、姉 への妄想ダダ漏れ状態。先生が本物の姉マ ニアであることがよ~く分かります。次も きっと我々を満足させてくれるでしょう。



お姉コし

著者	柚木 N'
発行	茜新社 TENMA COMICS
発行日	2010年5月10日

■お姉さんつしクション

お姉さん系、年上系を大の得意とする柚木 N'先生のお姉ちゃんオンリー本がまたも登場。先生は完全な姉専業漫画家ではないのですが、年上のお姉さん好きであることは後書きや作品紹介ページでも熱く語られているところ。

2008 年にも、姉オンリー本の『めちゃ姉!』¹を出されており、"放っておくとついお姉ちゃんを描いちゃう"ような姉漫画家ではないのかと推測しています。

そんな姉好きの先生が描く漫画が面白くない訳が無く、こちらの『お姉コレ』も弟を喜ばすツボを得た姉漫画の連続。今回は、実姉(3話)、先輩(2話)、女教師、友人の姉、年上の幼馴染み、園児のママ、隣のお姉さん、という構成。

ご覧の通り、実姉に限らず幅広く年上を 射程とする「お姉さんコレクション」といった内容になっています。

話の基本スタイルはイチャラブ系。重い要素はほとんど排除され、姉と弟、年上の女性と年下の男の子が、お互いをねちっこく求め合うシーン満載。「この子が愛しい!」「僕、お姉ちゃんのことが!」と思い

の丈を吐き出しながら激しく交わることも あれば、ちょっとしたおふざけがエスカレートして最後まで到達してしまうこともあ り、飽きさせない作りとなっていて、本棚 に常備しておきたい姉単行本です。

■名話ピックアップ

「ひとりよりふたりで!」

朝。まだ寝ている弟の布団に潜り込み、 もぞもぞし出すお姉ちゃん。弟の下半身に かぶりついて、これは朝からお姉ちゃんに よるスーパーご奉仕タイムか? …と思え ば、このお姉ちゃん、自分の大事な部分を 熱心にいじってらっしゃる!?

そう、彼女は、生身の弟をオカズにして 自らを慰めるのが日課の H なお姉ちゃんな

のでした。



お姉ちゃんは弟バレして以来、堂々と弟の 目の前でするようになるという異例の姉弟。

これもブラコン表現の一種、なんだろう けど、弟を襲うでもなく、弟自身をネタに 満足しちゃうちょっと歪んだ愛情が倒錯的。 弟にしてみれば、これほど生殺しなことは

¹ 会報第 10 号で紹介。 もちろんこちらも姉属性お 薦めの単行本。

ないわけで。

エスカレートした先は……言うまでもないですね。

「姉熱視線」

前からなんとなーく…

そうかなと思ってたけど 確信はなかった 最近 やっぱり間違いないと気づいた うちの姉ちゃんの俺を見る視線は 普通の「姉」のそれとは何か違う

弟へ必死に何かを訴えかけるお姉ちゃん の視線。

好きな相手がすぐ手の届く所に住んでいる。でも、想いを口にすることができず、 姉ができるのは弟を目で追うことだけ。

そんな日常に耐えきれなくなった姉は、 ついに弟を……。



弟に対する想いが こらえきれなくなっ てハアハアする息遣 いが聞こえてきそう なほど上気したお姉 ちゃんの熱い視線が 弟読者の興奮を誘い ます。

弟のことが好きに

なりすぎて発情が止まらなくなった姉の魅惑の表情が何とも刺激的。

雰囲気と迫力は、本書一番のストーリー と言えるでしょう。

「SIS CON! ∼SISTER CONTACT~ I

中学生の頃に両親の離婚で離れ離れになった姉弟。姉のいる大学に自分も入学したことで再び一緒に住むことになった弟。

彼はよその女性に興味のない真性のシスコンで、久々に同じ家で暮らす姉への想いが募り募って……。

一時の感情に身を任せてしまって泣いてここにあるのかも知れません。

しまう弟と、弟のつらい思いを汲んであげられなかったことに気づいたお姉ちゃんは、 改めてお互いの気持ちを確認するように身 体を重ねるのでした。

寂しかった思いを少し乱暴な形で姉にぶ

つける弟の切な さ、後々のことを 考えて「大好きだ よ」と言い出せな かった姉の苦悩。

二つの不幸を 昇華させる姉弟 愛たっぷりの濃 厚ラブシーンが 楽しめます。



「結果 ALL RIGHT!!」

田舎のおばあちゃんちのお隣お姉さんは、 久しぶりに帰省してきた年下の主人公を大 人の魅力で落とす気マンマン。

周到な計画を練るが、どれもこれも上手 く行かず、彼を落とすどころか、策士策に

これないとのいし イ楽漫かなかとのいし イ楽漫画のないが がまれば がまれば かが 気が

溺れて……。



■姉弟の心の内を読み取って

柚木先生の姉漫画を読み解くコツは、モ ノローグをじっくりと噛みしめて読むこと。 年上モノの味わいがさらに深まります。

先生の作品に感情移入がしやすい理由は ここにあるのかも知れません。



メイドなお姉さんはいかがですか?

著者	089 タロー
イラスト	長谷川ユキノ
発行	二次元ドリーム文庫

「一緒に暮らしていたお姉ちゃんたちが、なんといきなり専属メイドさんに早変わり! 垂れ目でおっとり巨乳なお姉ちゃんにも、ホントはMなツンツンお姉ちゃんにも、 ロリっ娘でエッチなお姉ちゃんにも、 み~んなメイド服を着て上目遣いで 「これが私のご主人様♪」とご奉仕されちゃう!! お家も学園も姉メイドにお任せ!

■お姉ちゃんだってメイドしたい

「弟はお姉様にご奉仕してナンボ」という姉上位嗜好で、姉の尻に敷かれたい願望の持ち主には、弟をご主人様と呼ぶ姉メイドの姿に違和感を持ってしまいがちかも知れません。

しかし、そもそもお姉ちゃんなる人種は、 弟の面倒を見ずにはいられない性質なので、 年上ぶっていても実は世話焼きな面に注目 すれば、姉×メイドさんの食い合わせも決 して悪くないのです。

もっとも、二次元ではメイドさんのバリエーションが広がった結果、主人に容赦ないツッコミを入れる毒舌メイドさんや、戦闘能力が高いボディーガード的なメイドさんなど何でもアリの様相で、ひたすら従順さを貫くだけのメイドさんは少数派の感すらあります。

もはや主人が上でメイドが下、なんて図 式もあいまいになってきて、「メイド服を着 て、面倒を見てくれる女性」であることが メイドさんの最後のアイデンティティではないかと思うのです。

従って、今まで姉妹においてメイドと言えば妹が先行していた時代は終わりを告げ、お姉ちゃんだってメイドさんになれる、お姉ちゃんメイド自由化の時代が到来したのです。

■ある日突然の姉メイド宣言

幼い頃に両親が他界し、3人の姉と暮ら していた主人公優一(ユウ)。

ある年の彼の誕生日、3人の姉から衝撃 の事実を告げられます。

実は自分たちは異母姉弟であること、そして……今日から私たちはユウ君の専属メイドとなりました、との告白。(無論これには理由があるのですが、それは本編を読んでもらうとして)

昨日までは、どこにでもいるような仲良 し姉弟だったのが、今日からはメイドさん とご主人様ですと告げられて、お姉ちゃん 達の格好もメイド服に変身。

当然弟は面食らう訳ですが、普段の呼び 方がご主人様になったこと、姉たちの服装 が変わったこと、以前よりさらに面倒見が 良くなったこと以外は姉弟関係そのまま。 急によそよそしくなることもなく、むしろ メイドの肩書きを得たことで、これからは お姉ちゃんがもっとお側にいますからね、 と距離を縮めるきっかけにもなるのです。

弟は比較的気弱なシスコンのため、ご主 人様だと偉ぶることなんてまったくなく、 全編を通して調子に乗ることもありません。 ウブなところもあるが、異性への関心も姉 限定で人並みに。誘惑されがちなタイプの 弟で、しかし一度その気になれば愛しいお 姉ちゃんのために頑張る健気な子。

かくして、今まで通りの姉弟関係に、メイド設定がプラスされたような生活が始まるのでした。

■お姉ちゃん要素に不足無し

メイドメイドとしつこかったかも知れませんが、本質的にはお姉ちゃんノベルです。 弟への迫り方はメイド風にしていても、人間としての姉気質は全然抜けていません。

なので、お姉ちゃん要素目当てで買って も何ら問題なし。主人公は最初から最後ま でずっとお姉ちゃんと呼び続け、地の文で は主人公のことを「愛弟」と表し、「姉爆乳」 や「弟根」など単語レベルでも姉弟要素が ちりばめられています。

姉要素は形式面だけではありません。内容は、基本的に姉弟の甘甘な日常を描いたもの。部屋で勉強を見てもらっているうちに…とか、お風呂に入っていたら…とか。

その上で特徴的なのは、お姉ちゃん3人 の対抗意識を強調している点。

いくら仲良し3姉妹と言っても、私が先にユウくんとイチャイチャしたい! 私の方が長くユウくんとラブラブしたい! そうした弟独占欲が先に立ってストーリーを引っ張ります。

中でも、3姉妹総掛かりで弟くんをお風 呂で愛しちゃうハーレム編は、ボリューム たっぷりのメインディッシュ。

三女が裸エプロンで上手く誘ってこれから! という時に次女の邪魔が入り、その次女も弟のお風呂へしれっと乱入していよいよ! という時に三女の待ったがかかり、「あたしが」「アンタが」と言い合いをして

いるさなか、にこやかな笑顔なのに心は笑っていない長女の登場で場面が凍りつく…。 姉ー弟の関係だけでなく姉ー姉の関係も上 手く使って、姉弟四人生活の楽しさを引き 出しています。

長女の天音お姉ちゃんは、学園では品行 方正な教師、家では母親代わりで家事万能 のスーパーメイドさん。妹二人にとっても 良き姉。弟秘蔵の姉系 H 本を見つけても「気 になさることなどありませんわ。ご主人様 のお年頃なら、女性に興味を持たれるのは 当然ですから」と理解してくれて、その上 さらに弟を慰めてくれる優しいお姉ちゃん。

次女・成海お姉ちゃんは、素直じゃないツンデレ。メイドになっても、世話の焼ける弟扱いをして「もう! ハンカチ忘れてますよ、ご主人様っ!」とツンツンしたところが可愛くて仕方ない。思いを遂げた後、「よっっっ、よくもこんな真似してくれたわね! ドスケベご主人様!!」と怒声を張り上げる一方で、「でも……う、うっっ、嬉しかったんだからっ!!」と照れるセリフは悶絶モノです。

三女・晴菜姉は、兄にじゃれつく妹チックな面がある人懐っこい姉。容姿こそ小さくて可愛らしいが、実は相当な小悪魔で、無邪気さを装った計算高い策士。弟が困るのを知っていながら、「くすっ。ご主人さま~、ココ、またおっきくなってますよ~?どうしたんですか~?」と弟をいじり出すけしからんお姉ちゃんなのです。

■楽しく読める姉メイドノベル

シスコンの主人公に、ブラコン姉3人を あてがい、終始明るくラブラブな姉弟模様 を描いた、読んで楽しい姉ノベルです。

姉妹間の駆け引き要素も詰め込んだ結果、 3人のお姉ちゃんそれぞれのブラコンスタ イルが楽しめる良作でした。 前号でここに告知した姉オンリーイベント『姉魂っ! ~sis-con!~』は、好評のうちに無事開催されました。

会場まで足を運んで下さったお姉ちゃんファンの皆さま、会場には行けなくても応援、ご支援下さった皆さま、どうもありがとうございました!

当日の様子は、公式サイト(http://sis-con.net)でレポートしています。

メインとなる同人誌即売会では、すべての参加サークルさんが姉同人誌を並べ、すべての参加者が姉属性で、スタッフも全員姉属性。つまりは会場全体が姉好きでいっぱい。オンリーイベントなんだから当ったり前だろと言われても、あの状況は興奮せざるを得ませんって!

即売会終了後には参加者全員参加の大抽選会。

そして、みなとそふと社長のタカヒロ氏と、企画屋所属のシナリオライター丸戸史明先生、姉漫画家・風華チルヲ先生をお招きしてトークライブを開催しました。

総裁のテンパりまくった司会進行にも関わらず、当代随一の姉クリエイターお三方が繰り広げるトークは楽しく、今後お姉ちゃんキャラびいきの作品を製作してくださる約束をお3人に取り付けてお開きとなりました。

第2回の開催はこちらが望みたいくらいですが、現在具体的な話はありません。 もし決定が決まれば、全姉連ホームページや当会報などでお知らせします。 その時は、ぜひぜひ遊びに来てくださいませ!

全姉連会報 第13号

発 行: 全姉連 総本部 (http://www.zenaneren.org/)

発行日: 2010年8月15日

著 者: 全姉連総裁

連絡先: so-sai@zenaneren.org

表 紙: 姉月偲様

印 刷: 株式会社ユリクリエイト様

本書発行に至るまで、全姉連を通じて多くの同志から姉ゲー情報を頂きました。

ここにお礼申し上げます。

本書へのご感想、ご意見、ご質問はお気軽に上記連絡先までお送りください。

